

<p><b>部会名</b></p>	<p><b>テレワークプロデュース調査研究部会</b></p>
<p><b>取り組みテーマ</b></p>	<p>プロデュース型エージェントモデルの新しいビジネスモデルであるクラウドソーシングの課題と可能性</p>
<p><b>実施内容</b></p>	<p>一億総活躍プランの中では、女性、高齢者、障がい者のテレワークの活用の推進が謳われています。潜在的な在宅ワーカーは600万人と大きな労働市場として期待されます。</p> <p>一方で、企業によるBPO市場は3.7兆円を越えているにもかかわらず、クラウドソーシング市場は2018年度には1820億円まで成長すると見込まれているにすぎません。</p> <p>企業からテレワーカーへの仕事の流れを様々な確度から捉えかつ俯瞰しながら、具体的にそれを推進する方策について実践すると共に調査・研究します。</p> <p>＜基本的な調査・研究テーマ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①企業にとっての新たなアウトソーシング、のクラウドソーシングの可能性             <ul style="list-style-type: none"> <li>・何ができて何ができないのか？</li> <li>・可能性を広げるための課題は何か？</li> </ul> </li> <li>②支援企業にとってプロデュース機能の可能性             <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術と仕事のやり方を組み合わせることが可能か？</li> </ul> </li> <li>③在宅ワーカーの働き方の可能性             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとまちしごと創生のためのテレワーカー育成</li> <li>・正当な評価と報酬</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>実施時期</b></p>	<p>2016年7月～2017年5月 (成果発表会/2015年6月)</p>
<p><b>実施頻度</b></p>	<p>5～7回程度開催予定</p>
<p><b>部会長 副部会長</b></p>	<p>福田 秀樹氏 (キャリアコンサルタント協同組合) 塚本 鋭氏 (株式会社クラウドワークス)</p>
<p><b>事務局</b></p>	<p>中本(日本テレワーク協会 主席研究員)</p>